

## 地材地建グループの県外研修に参加しました。!

3月5日、地材地建グループ 35名で熊本県の新産住拓グループの研修に行きました。

新産住拓グループは「100%国産材の家」を売りにして伸びてきた会社で、H17年に九州で初めてSGEC「森林認証」を取得しています。現在、県産材と認証木材を使い年間およそ200棟の住宅を供給しています。「地球環境を大切にしたい住まい」「気候風土を活かした住まい」「高齢者や障害者が自立して暮らせる住まい」「病気を作らない住まい」を経営理念として、自然乾燥木材と天然素材にこだわっています。

人吉にある工場では1年以上自然乾燥した木材を使い、月20棟弱の生産をしているそうです。大黒柱は240角を使っていますが、ひび割れも目立っていました。お客様には「木材は生きており、1年以上自然乾燥し、含水率25%以下にした材でも割れは出ます」と説明し、ご理解をいただいているとのことでした。

自然乾燥をしている土場には1ヶ所で3,000~4,000m<sup>3</sup>の木材を乾燥しており、普通の県産材とSGECの材を別々の土場で1年以上自然乾燥していました。寸法は仕上がりより、およそ12mm大きく製材し45角を棧にして積み上げ、製材年月日と産地を表示してありました。これを適宜入れ替えて乾燥が均一にできるように、一人で受入・出荷・管理を行っていました。工場へ出荷された製品のうち含水率が25%まで落ちていないものは再度乾燥しているとのことでした。

部材の種類が多くなると管理する量が増えるので、構造材(柱・桁・梁)17種類、羽柄材(間柱・他)20種類に標準化しているそうです。

流れとしては、SGECグループの泉林業さんが寒切り(10月~3月)した材を葉枯し乾燥した後、尾方製材さんで製材し、自然乾燥しているそうです。従って、常時400棟分以上を在庫していることとなります。

本社工場では小山会長から、「長期優良住宅」など、会社の目指す方向などのお話を伺い、関連会社・エコワークスの展示場も見学しました。予定より1時間以上オーバーした研修になりましたが、収穫の多い1日でした。

\* SGECとは「育林→製材→製品→消費→育林」という循環サイクルを確実に実行できる取り組みです。合法材と同じようにトレイサビリティが行われています。

### 【情報】

#### \*丸太が値上がりしています

住宅着工数が低迷している中、丸太の値段が上昇しています。製品は、荷動きが悪く、値上げは難しい状況ですがメーカーによっては値上り要請の声が聞かれるようになってきました。

#### \*公共工事において合法木材の証明が要求されます。

前号でもお知らせしましたが、公共工事では合法木材の証明が要求されます。流通の途中に1社でも事業者認定以外が入ると証明できなくなります。ご注意ください。

### 【定休日】

4月は3,4,10,11,17,18,24,25日となります

5月は2,3,4,5,9,16,23,30日となります

ご協力をお願いします。

(お問い合わせは、お客様サービス係の東野まで)



自然乾燥土場(H19.12も見える)